



Iréne Bergman イレーン・ベリユマン

- ハルムスタド (Halmstad) 自然学校教員
- 野外環境教師
- 環境コーディネーター
- 学校開発講師



イレーンさんは 1997 年以來、ハルムスタド自然学校で野外教育者として働いている。それ以前は 1979 年以來、主に幼稚園、小学校低学年の子供を対象に仕事をしてきた。子供を相手にする仕事のモチベーションの一つとして、自然保護や環境問題に対する大きな関心がずっとあった。その熱意とやる気に関わることで、自然学校の事業は野外教育の分野でも ESD の分野でも発展してきた。(ESD=Education for Sustainable Development/持続可能な発展のための教育)

スウェーデンの西海岸に位置するハルムスタド市は、自治体内に漁業、農業、林業という三つの重要な『ビオトープ』を持っている。そして、そこにある二つのキャンプ学校を利用しながら、ハルムスタド自然学校は活動している。一つはエーン (Ön) という内陸にある農場、もう一つは海岸沿いにあるリトルコペンハーゲン (Lilla Köpenhamn) という漁業小屋である。生徒たちはこれらの場所で何日間キャンプ生活をしながら、自然や文化をテーマにした学びを体験できる。さらに自治体は都市部にある農場を持っている。自然学校はそこで野外教育、栽培やスウェーデンの伝統的な家畜などの動物の世話をしている活動もしている。

イレーンさんは 2000 年から、幼稚園と学校の野外環境の開発に取り組んでいる。その中で幼稚園教員と学校教員を対象に校庭など学校に近い環境での野外教育の手法を教えてきた。その結果、より多くの教育者が野外環境を普通の授業に補助的に使える学習環境として考えるようになった。

2003 年、ハルムスタド自治体は環境管理制度を導入した。イレーンさんはその制度を自治体の幼稚園と小学校に導入するための主導的な役割を果たし、現在もそれを推進している。またスウェーデンには、スウェーデン学校庁が提供している「持続可能な学校」という学校認証や「グリーンフラグ (エコスクール)」などのそれとは独立した学校認証があるが、それらの認証の取得を目指している学校の支援やその教育者の研修も行っている。その活動はハルムスタド市の回りの自治体にも広がっている。この取り組みの中で自然学校は、ハルムスタド自治体の各関係部局と協力をしながら持続可能な発展のためのいくつかのプロジェクトを運営している。

ハルムスタド自然学校の教育者は、ハルムスタド大学の教員養成プログラムの学生を対象に野外教育の手法や持続可能な発展についても教えている。

## ハルムスタド自然学校の概要

- ・ ヨーテボリ市より 150km 南部のハルムスタド市に位置している。
- ・ 障害児向け特別サポートが集中するシェーンファーセット (Kärnhuset) 校長区域に所属している。
- ・ 6 歳-16 歳の小中学校生徒を対象にしている。ハルムスタド自治体には 1 万員の生徒と 7 千人の幼稚園児がいる。
- ・ 学校教員と幼稚園教員 (合計約 2200 人の教育者) を対象に野外教育と ESD の手法を教えている。
- ・ ハルムスタド大学の将来の教員を養成している。
- ・ 詳しくは <http://www.utb.halmstad.se/adm/natur/> へどうぞ (スウェーデン語のみ)。

連絡先: [irene.bergman@utb.halmstad.se](mailto:irene.bergman@utb.halmstad.se)

ハルムスタド自治体はスウェーデンエコ自治体協会 (Sekom) に加盟している。